

学校評価のまとめ（令和 7 年度）

大津市立南郷小学校

本年度は、教職員・保護者・児童の皆さまから多くのご回答をいただき、学校の教育活動について多面的に振り返ることができました。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

以下に、本年度の主な成果と課題、ならびに来年度に向けた重点をお知らせします。

1. 本年度の主な成果

【学校文化の定着】

あいさつ・掃除・時間を守るといった基本的な生活習慣について、肯定的な回答が 9 割前後と高く、日々の積み重ねが学校全体に定着してきています。

また、地域や南郷小学校サポーターズの皆さまとの連携による通学時の見守り活動についても、高く評価されました。

【授業改善の前進】

ICT 機器の活用が進み、児童が自分の考えを表現したり、学びを深めたりする場面が増えています。授業の質の向上につながる取組として、一定の成果が見られました。

【特別支援・相談体制の充実】

支援計画の共通理解が進み、児童一人ひとりの状況に応じた、継続的で安定した支援が行える体制が整ってきています。

【児童の学校適応】

「学校は楽しい」「先生は相談にのってくれる」など、学校生活に対する安心感に関する項目で、高い評価が得られました。

2. 主な課題（今後さらに改善が必要な点）

【家庭学習】

学年が上がるにつれて、学習内容の難化や生活環境の変化により、家庭学習への意欲に課題が見られました。

【生活リズム・運動習慣】

「早寝早起き朝ごはん」や休み時間の運動について、学年が上がるにつれて、実践が難しくなる傾向が見られました。

【高学年の自己肯定感】

高学年は、学校での役割や活動量が増え、心身ともに大きく成長する時期です。その過程で、気持ちの揺れや生活面での難しさが表れやすく、自己肯定感が一時的に低下することがあります。学校では、こうした発達段階をふまえて支援を行っていきます。

【相談のしやすさ】

学年によって、相談窓口の分かりやすさや、情報発信の受け取りやすさに差があるとのこと意見がありました。

3. 来年度の重点施策

- ・家庭学習の工夫（選択式宿題、学びの整理）
- ・あいさつ文化の継続・強化
- ・運動習慣の促進
- ・生活リズムと家庭連携の推進
- ・働き方改革と校種間連携の再設計

4. おわりに

今回の学校評価をもとに、保護者・地域・教職員が力を合わせ、子どもたちが安心して学び、自己肯定感を育める学校づくりを進めてまいります。今後もお気づきの点がありましたら、学校までお知らせください。